



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロ)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 988 回(4 月 1 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
第 2 副 S A A 栗原(成)君、益子君

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36 名	29 名	77.42%	75.76%

会長の時間

栗原(憲)会長



先日 3 月 29 日~30 日にかけて、千葉の鋸山日本寺へ行ってまいりました。その由来を紹介させていただきます。

『鋸山 日本寺の由来』

日本寺は今から約 1300 年前、聖武天皇の勅詔と、光明皇后のおことばをうけて、神亀 2 年 6 月 8 日(西暦 725 年)高僧行基菩薩によって開かれた関東最古の勅願所です。正しくは乾坤山日本寺と称し、時に帝よりはわが国の国号を冠する「日本寺」の勅額、宸翰ならびに黄金五千貫を、皇后よりは御手づからの刺繍になる三十三観音の軸物および御戸長料綾錦十匹を賜りました。

初めは法相宗に属し、次いで天台、真言宗を経て徳川 3 代将軍家光公治世の時、曹洞禅宗となって今日に及んでいます。現存の古碑銘にあるように、かつては七堂、十二院、百坊を完備して、良弁僧正、慈覚大師、弘法大師などの名僧が訪れ修業した我が国でもまれにみる古道場です。本尊の薬師瑠璃光如来は日本三薬師の随一として尊敬を集め、江戸時代の最盛期には実に 3 百万人講の名をもって東海千五百羅漢彫刻の大工事が行われました。

『日本一の大仏さま』

昭和 44 年 6 月、4 年にわたる復元工事によって再現した名実ともに日本最大の大仏さまです。

原型は天明 3 年(1783)に、大野甚五郎英令が

門第 27 名とともに 3 年を費やして現在の地に彫刻完成したものです。当時は御丈八丈、台座とも九丈二尺あり、天下にその偉観を知られていましたが、江戸時代末期になって、自然の風触による著しい崩壊があり、昭和 41 年に至るまで荒廃にまかされておりました。

この大仏さまは、正しくは 薬師瑠璃光如来と称し、宇宙全体が蓮華蔵世界たる浄土であることを現わしたもので、世界平和、万世太平の象徴として復元建立されたものです。

『百尺観音』

昭和 41 年 5 月、6 年の歳月を費やして完成した大観音石像です。発願の趣旨は、一つには世界大戦死病没殉難者供養のため、また一つには、近年激増する東京湾周辺の航海、航空、陸上交通犠牲者供養のためです。

当山山頂に切りたつ、けわしいがけに囲まれた雄大な勝地に安置される大観音像は、交通安全の守り本尊として、多くの人々の尊崇を集めています。

初めて行きましたので、大仏の大きさと百尺観音の大きさに大変感動を致しました。こちらは俳句の会で行きましたので、作りました句を紹介させていただきます。

「大仏の 耳たぶ垂れて 花の昼」

ちょうど菜の花や桜が咲いており、印象が強かったため、このように作りました。

幹事報告

宮野幹事

1. 世界寺子屋運動 & 環境保全支援運動への寄付のついて
2. 2580 地区、「ロータリー活動の公共イメージ向上作戦」放送媒体について
3. 交通事故防止緊急対策における広報啓発活動実施について
4. 青少年を育てる狭山市民会議第 6 回理事会報告について
5. 受贈会報 所沢 R C 新狭山 R C

誠実さ、忠誠心といった品性を持っている。」

キリスト教の神学を学び、次にユダヤ教へと転じた小辻だが、人間としての芯にあったのは武士道であった。それがこのとき「義を見てせざるは勇なきなり」という言葉を思い起こさせた。

ユダヤ難民のこの窮状を目の当たりにしたら、彼らを助けるべく力を尽くすのが当然である。以後鎌倉から東京の外務省に通ってビザの延長受け入れ陳情を続けた。ビザ延長は難航し、外務省の役人に呼びつけられ「今後、ビザ延長を求める行動は許さない」と脅されたこともあった。行き詰っていた小辻の脳裏に一人の有力者の顔が浮かぶ。ユダヤ人問題に強い関心を持ち自分を満鉄に呼んだ松岡洋右である。松岡はこの時、外務省の職に在った。

昭和 15 年 7 月に外務大臣となった松岡洋右は 9 月に日独伊三国同盟を締結させた。その後ソ連との緊張が高まり多忙を極めたが、小辻節三の面談には会ってくれた。ユダヤ難民の苦境を語り、滞在期間の延長を訴える小辻に対して松岡は「残念だが...」と応じた。しかし「大臣としてではなく友人として話そう」と言い、外に連れ出した。「君の求めに応じれば、同盟国ドイツとの関係が難しくなる。しかしユダヤ人を救うことで、アメリカとの戦争を避けられるかもしれない。」「口外しない」ことを条件に、ヒントを提示する。それは「滞在期間延長は自治体にその権限がある。その実政府は自治体に任せっぱなしだ。君が自治体を動かしたら、外務省は見ても見ぬふりをしよう。このことは友人として約束する。」ということだった。

松岡が示唆してくれたヒントは「まことに地獄の仏の知恵でありました」と「松岡洋右...その人と生涯」に寄稿した「ユダヤ難民を救った「松岡示唆」のなかで小辻は語っている。要するに外務省がビザを書き換えてくれなくても、外国人の滞在を許可する窓口が置かれた神戸の警察に OK を出してもらえば良いのだ、ということになった。小辻は接待して親しい関係を築き、その後ユダヤ難民の滞在延長を頼む算段とした。早速神戸に向かい警察本部に行き「ユダヤ人問題を話したい」と申し出て、外食を共にしながら対応すべく、神戸で一番の料亭に招いた。数回の会食の後に、神戸にいる難民の窮状を訴え、滞在期間の延長を申し出た。その結果 1 回につき 15 日延長するという許可を得ることができた。都合数回に亘る期間延長を申し出て、2 ヶ月半強の期間延長にこぎつけた。その間に難民のリーダーたちが資金や船会長

との交渉を精力的に行い、昭和 16 年の秋頃にはほとんどの難民が出国していった。

小辻は自伝にこう記している。「ナチスからの圧力がかけられていた当時の日本であったにも拘わらず、ユダヤ難民が無事日本を通過できたことは喜ばしいことであった。」又「自分がユダヤ難民を助けた。」という記述は一行たりともなく、「ユダヤ難民に対する日本の善意は自慢に値するものではない。」としながらも、日本人の善意によってユダヤ難民が救われたという気高い精神を持ったサムライの姿を感じると筆者は言っている。



栗原(憲)君 有山幸雄さん入会おめでとうござい
ます。柴田会員、卓話よろしくお願
い致します。

宮野君 有山様、入会おめでとうござい
ます。心より歓迎致します。
所用で早退致します。くれぐれも柴田
パスト会著長の卓話が聞きたくない
訳ではございません。

有山君 本日より入会させて頂く有山
です。ご指導、ご鞭撻の程よろしく
お願い致します。

稲見君 有山会員、入会おめでとうござ
いませす。よろしくお願
いします。柴田パスト会長、
今日のお話楽しみです。

奥富君 柴田さん、今日卓話よろしくお
願
いします。

小澤君 体調上、海外旅行を自粛して
いる為、「モンゴル国干ばつ防止
プロジェクト」に参加
できません。今月、栗原(成)
パスト会長が「寒冷地に適
応するリンゴの苗木」を持
参してモンゴルに赴き、先
行植樹されると伺いました
ので、苗木の原価相当額を
寄付させていただきます。

会員誕生祝 江原君 小澤君 田中(八)君

夫人誕生祝 益子君

結婚記念日 片山君 柴田君

次の例会

4月22日(火) 12:30~13:30

外来卓話

M2トレーナー佐藤治療院

アルペンナショナルチームシニア男子トレーナー

早坂優一様「ソチオリンピックを終えて」

第2副SAA 松浦君 宮岡君

